（別記）

令和８年度 JA あさひかわ地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

ＪＡあさひかわは合併農協であり、その耕地は水田農業推進ビジョンを従来作成していた地域で数えると、旭川市より５地域、鷹栖町より１地域の合計６地域で構成されています。

道内有数の米所である上川地区の例に漏れず、耕地の大半は比較的平坦であり、良質米の生産に適しています。生産調整が実施される中、加工用米等の作付に取り組み、水張面積の維持拡大に努めています。

畑作転作においては、それぞれの地域でコントラクター事業や受託作業組合が発達し、麦・大豆・そばといった土地利用型作物を戦略作物に据え、一定の品質及び数量を確保するべく作付を行ってきました。

野菜については、大規模畑作転作が不可能な地域でも、水稲との複合経営を行う柱として、地域の特性にそった多種多様な品目が作付されています。近年は、農産物価格の低迷や、生産者の高齢化・担い手の経営面積大規模化による労働力不足により、野菜の作付面積は年々減少しています。

飼料作物においては、大規模酪農地域を有することもあり、耕畜連携の考えに基づき、耕種農家の生産調整対策および酪農生産者の振興を目的として、一定の牧草地による収穫物を酪農家へ安定供給し、地域農業の底上げに努めています。

しかし、全体的に転作田において作付する品目は収量・品質ともに、より上を目指す事が可能であり、適期刈取や適切な施肥管理、新たに必要な取組を行い収益力の向上に努めます。

その他の作付においては、条件不利地や労働力不足による耕作放棄地候補が増大する中、地力増進作物や景観形成作物の作付により、農地を保全管理し、地域全体として水稲をはじめ農作物の生産に適した環境を維持しております。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

生産性の向上に資する作物として、既存生産者及び新規就農者に対し高収益作物を推進します。あわせて旭川青果物出荷組合連合会や鷹栖振興公社等、各関係機関との連携を強化し、付加価値額を高めます。

また、農協が運営する農産物直売所等に出荷し地産地消を推進し、消費者の需要に即した旭川・鷹栖町産野菜を振興します。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

ＪＡあさひかわ地区は優良な米産地であり、水稲の水張面積を維持し、米の生産出荷をより良質な状態に改善しつつ維持していきたい、という基本方針であります。酪農生産者も有しているため、飼料作物の安定的な作付を行います。また、国営・道営といった基盤整備事業を活用しつつ、受託組織により省力化を進めた麦・大豆・蕎麦等の畑作においては、需要にあわせた水稲とのブロックローテーションを構築し、連作障害を防ぐとともに反収の向上に努めます。

圃場の筆単位での水稲作付年度を記録管理するとともに、経営所得安定対策申請者ひとりひとりに圃場状況と今後の作付意向を聞き取りしています。農業者の意向と圃場条件等を鑑み、水稲とのローテーションを行うより畑作の定着を進めた方が農業収入が見込める圃場については、畑地化支援を活用し、より収益性が高く、継続性のある畑作を振興します。

4　作物ごとの取組方針等

（1）主食用米

主食用米の主産地として、水稲作付希望者全員に対し生産の目安に準じた数量の一律配分を実施し、需要に応じた作付を行います。

（2）備蓄米

あさひかわ地域の水田面積維持のため、需要に即した生産を図ります。

（3）非主食用米

ア　飼料用米

あさひかわ地域の水田面積維持のため、生産の目安の配分により生じた水稲転作を、各種非主食用米の需要に応じて作付生産を図ります。

イ　米粉用米

あさひかわ地域の水田面積維持のため、生産の目安の配分により生じた水稲転作を、各種非主食用米の需要に応じて作付生産を図ります。

ウ　新市場開拓用米

あさひかわ地域の水田面積維持のため、生産の目安の配分により生じた水稲転作を、各種非主食用米の需要に応じて作付生産を図ります。

エ　WCS 用稲

あさひかわ地域の水田面積維持のため、生産の目安の配分により生じた水稲転作を、各種非主食用米の需要に応じて作付生産を図ります。

オ　加工用米

あさひかわ地域の水田面積維持のため、生産の目安の配分により生じた水稲転作を、各種非主食用米の需要に応じて作付生産を図ります。

（4）麦、大豆、飼料作物

米に続く産地の形成を実現するため、小麦・大豆（黒大豆含む）といった換金性の高い土地利用型作物による作付け推進を積極的に展開し、高品質・安定生産のできる生産基盤の強化を目標に取り進めます。

また、利用供給協定に基づき飼料作物を地域内の有畜農家へ安定供給することにより、地元資源を有効に活用し地域全体の農業力を高めます。

更に、耕畜連携を継続し耕種農家と畜産農家の連携を深め、相互扶助による地域活性化を行います。

（５）そば、なたね

地域名がついたブランド蕎麦を根幹に、生産力・高品質化を踏まえつつ近隣の水稲圃場に考慮した生産調整作物として作付けを展開し、需要に即した生産を目標に取り進めます。

（６）高収益作物

消費者に安心して選択してもらえる青果物の産地を目指し、人・環境に優しいクリーン農業に取り組んで参ります。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位：ha）

作物等	前年度作付面積等	うち二毛作	当年度の作付予定面積等	うち二毛作	令和８年度の作付目標面積等	うち二毛作
主食用米	2,577.237	0.000	2,550.000	0.000	2,300.000	0.000
備蓄米	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
飼料用米	0.000	0.000	0.000	0.000	125.000	0.000
米粉用米	47.536	0.000	40.000	0.000	50.000	0.000
新市場開拓用米	87.519	0.000	90.000	0.000	92.000	0.000
WCS用稲	16.828	0.000	20.000	0.000	3.000	0.000
加工用米	192.603	0.000	190.000	0.000	200.000	0.000
麦	93.077	0.000	93.000	0.000	125.000	0.000
大豆	274.416	0.000	275.000	0.000	295.000	0.000
飼料作物	129.485	0.000	129.000	0.000	200.000	0.000
・子実用とうもろこし	4.250	0.000	5.000	0.000	7.000	0.000
そば	392.742	0.000	400.150	0.000	400.000	0.000
なたね	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
地力増進作物	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
高収益作物						
・野菜	50.252	0.000	50.000	0.000	58.300	0.000
・花き・花木	0.502	0.000	1.000	0.000	1.000	0.000
・果樹	0.920	0.000	1.000	0.000	1.500	0.000
・その他の高収益作物	0.637	0.000	1.000	0.000	1.000	0.000
その他						
・自家野菜他	49.303	0.000	50.000	0.000	28.000	0.000
畑地化	20.600	0.000	22.500	0.000	0.000	0.000

※ 畑地化の面積については、前年度作付面積等は内数、当年度及び令和8年度作付予定面積等は外数で計上しており、記載方法が異なっています。

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	小麦・はだか麦	収益力向上取組助成	作付面積(ha) 取組面積(ha) 反収(kg/10a)	(7年度) 93.077 (7年度) 93.077 (7年度) 328	(8年度) 125.000 (8年度) 125.000 (8年度) 350
2	大豆	収益力向上取組助成	作付面積(ha) 取組面積(ha) 反収(kg/10a)	(7年度) 134.114 (7年度) 134.114 (7年度) 273	(8年度) 135.000 (8年度) 135.000 (8年度) 240
3	黒大豆	収益力向上取組助成	作付面積(ha) 取組面積(ha) 反収(kg/10a)	(7年度) 140.302 (7年度) 140.302 (7年度) 248	(8年度) 160.000 (8年度) 160.000 (8年度) 260
4	飼料作物	収益力向上取組助成	作付面積(ha) 取組面積(ha) 反収(kg/10a)	(7年度) 129.485 (7年度) 129.485 (7年度) 280	(8年度) 200.000 (8年度) 200.000 (8年度) 350
5	蕎麦	収益力向上取組助成	作付面積(ha) 取組面積(ha) 反収(kg/10a)	(7年度) 392.742 (7年度) 392.742 (7年度) 51	(8年度) 400.000 (8年度) 400.000 (8年度) 80
6	小豆	地域振興作物加算	作付面積(ha)	(7年度) 0.637	(8年度) 1.000
7	野菜・花卉	地域振興作物加算	作付面積(ha)	(7年度) 49.338	(8年度) 68.000
8	原料トマト	地域振興作物加算	作付面積(ha)	(7年度) 0.914	(8年度) 1.300
9	果樹	地域振興作物加算	作付面積(ha)	(7年度) 0.920	(8年度) 1.500
10	飼料作物	資源循環助成 （耕畜連携）	作付面積(ha) 取組面積(ha) 反収(kg/10a)	(7年度) 129.485 (7年度) 16.808 (7年度) 320	(8年度) 200.000 (8年度) 19.000 (8年度) 400
11	飼料作物	水田放牧助成 （耕畜連携）	作付面積(ha) 取組面積(ha)	(7年度) 129.485 (7年度) 0.000	(8年度) 200.000 (8年度) 1.500
12	蕎麦	蕎麦作付助成 （追加配分）	作付面積(ha)	(7年度) 392.742	(8年度) 400.000
13	新市場開拓用米	新市場開拓用米取組拡大助成（追加配分）	作付面積(ha)	(7年度) 87.519	(8年度) 92.000

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：

協議会名：JAあさひかわ地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	収益力向上取組助成	1	19,600	小麦・はだか麦	生臭黒穂病対策防除他
2	収益力向上取組助成	1	14,700	大豆	ダイズシストセンチュウ抵抗性品種導入他
3	収益力向上取組助成	1	22,000	黒大豆	株間除草機使用他
4	収益力向上取組助成	1	11,400	飼料作物	掃除刈実施他
5	収益力向上取組助成	1	22,000	蕎麦	微量要素肥料施肥他
6	地域振興作物加算	1	29,400	小豆	作付面積に応じて支援
7	地域振興作物加算	1	26,100	野菜・花弁	作付面積に応じて支援
8	地域振興作物加算	1	36,800	原料トマト	作付面積に応じて支援
9	地域振興作物加算	1	7,300	果樹	作付面積に応じて支援
10	資源循環助成（耕畜連携）	3	9,800	飼料作物	堆肥施肥他
11	水田放牧助成（耕畜連携）	3	9,800	飼料作物	水田放牧他
12	蕎麦作付助成（追加配分）	1	20,000	蕎麦	作付面積に応じて支援
13	新市場開拓用米取組拡大助成（追加配分）	1	20,000	新市場開拓用米	作付面積に応じて支援

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。